

## マーラーの交響曲第9番についての病跡学的考察 - 死を通しての永遠への志向 -

Pathographical Study on G. Mahler's Ninth Symphony : Intention to eternity through death

○大谷 正人

三重大学教育学部

Masato Otani

(Mie University)

Key Words : G. Mahler, Symphony No. 9, Pathography, Death, Transcendancy

### 1 はじめに

1909年に作曲された交響曲第9番は、ドイツ・オーストリアを中心として約200年間続いた交響曲の歴史上、最後の傑作ともされている。当時世紀末のウィーンではフロイトが活躍し、シェーンベルクによる12音音楽技法が生み出され、音楽における調性は崩壊の兆しを示していた。マーラーはウィーン宮廷歌劇場の監督として、ウィーン分離派と呼ばれていたクリムトラ造形芸術家グループとも親交があったが、彼らの絵画にもみられるように、愛や死の問題は当時のウィーンの文化人の間でよく議論されていた。この曲は大戦前という時代の危機を象徴する傑作でもある。病跡学(Pathography)とは、天才の精神生活と創造活動の関連を精神医学などの立場から解明しようとする領域であるが、マーラーの交響曲第9番について、病跡学的視点などから論じたい。

### 2 マーラーの交響曲第9番について

チェコのボヘミア出身の作曲家マーラー(1860-1911)は、歌劇場などにおける多忙な指揮活動の合間、特に夏の休暇に11曲の長大な交響曲などを作曲した。マーラーは幼少時から多くの兄弟の死を体験し、ユダヤ人としての故郷の喪失、そして何よりも感受性が豊かで完璧主義的な性格などもあり、終生、人間存在の意味を問い続け、神や超越性、永遠性を求め続けた。そのため、初期の作品から、死、葬送や復活は、自然や愛とともに主要な主題となっていた。1906年に作曲した交響曲第8番については、その肯定的な表現の総決算として、マーラー自身が「私の作品のうち最大のもの」と高く評価していた。1907年にマーラーは、3つの悲劇、すなわち愛する長女の死、自身の病気の宣告、長く活躍した街ウィーンとの別れを経験し、1907年から1908年にかけて交響曲「大地の歌」の作曲で死の受容体験を昇華した。その後作曲された交響曲第9番は、マーラーが完成させた最後の曲となったが、1911年重病のマーラーはニューヨークからウィーンに戻

り、交響曲第10番を完成させることなく、ウィーンで亡くなった。

この交響曲第9番で表現されている世界観について、これまで多くの音楽家や研究者たちにより死や告別といった視点から論じられ、マーラーが自身の死を受け入れて作曲したとも説明されてきた。しかし、作曲当時のマーラーの活発な活動、マーラーの言葉、そしてこの曲の分析より、マーラーは死や告別というテーマを通して、永遠性や超越性への志向を示しているように思われる。曲は4つの楽章から成り、ゆったりとした楽章で始まり、最も遅い楽章で終わる。第1楽章は完璧な作曲技法でもって、死も含んだ人生のドラマが劇的に描かれている。第2楽章は3種類のテンポのオーストリアの舞曲であり、愛する郷土と舞曲への別れというメッセージがあるのかもしれない。「きわめて反抗的に」という表示のついた第3楽章ではポリフォニックな技法が駆使されて、苦悩が戦闘的な形で表現されるが、その中間部では第4楽章の主題とその世界が予告されている。第4楽章こそ、マーラーがこの曲で訴えたかったことが最も鮮烈に表現されている楽章である。宗教的なコラール風の表現と虚無の世界の対比が著しいこの楽章では、何度か魂の高揚を経た後、最後に音楽が「死に絶えるように *ersterbend*」彼方の世界へ、そして沈黙の中に消えていく。

### 3 臨床点視点から

超越について、マズローは自己実現を超えた人間の意識の最高の、最も包括的な水準を意味すると位置づけ、同時に至高体験の意義を強調している。マーラーは音楽における至高体験を最も実感させる作曲家の一人であり、その音楽には高い価値感情を伴う深い意味があり、自己を越えて宇宙につながるという感覚がある。心の臨床に関わるものにとって、超越性への視点は、スピリチュアル (spiritual) な面として WHO でも議論されてきた健康の根幹にも関わる重要な問題であるが、マーラーの交響曲第9番は、告別や死という問題を通してであっても、超越性が存在することを示唆しているように思われる。

#### 参考文献

- 1) La Grange, H-L. (2008) . Gustav Mahler. A New Life Cut Short (1907-1911). Oxford University Press. New York.
- 2) Maslow, A. H. (1971). The Farther Reaches of Human Nature. Viking Press Inc. (上田吉一訳 (1973) 人間性の最高価値. 誠信書房. )
- 3) 大谷正人 (2006) . マーラーの交響曲第8番の志向する超越性 —心理臨床からの視点も含めて—. 三重大学教育学部研究紀要、57 : 41-48.